

ナイス ヒット
nice みる見つけちゃいました!
★今月のいいね★



まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。
『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。 Vol.23



花壇づくりに 25 年
フラワーマスター
まつお
佐々木 松男さん (72 歳)

ボランティアで畑で育てた花を
御料通線ポケットパーク(静内御幸町)の花壇などに移植し、地域の方や
通りを歩く方などから喜ばれています。



御料通線ポケットパーク(静内御幸町)

■花壇づくりを始めたきっかけ

25年前、町内の医療機関に務めていたときに、長期入院の患者さんや病院を訪れる方の心の癒しになればと思い、職場仲間とともに美観や配色などを考えながら、病院の敷地内の花壇整備を始めたのがきっかけです。

当時、鹿児島県の沖永良部島からエラブユリの球根を取り寄せて植栽したところ、寒冷地でも南の島の花がきれいに咲いていることが新聞などで大きく報じられ、花壇を見るためだけに町外から訪れる方もいました。また、敷地内にはユリやカサブランカの香りが一面に広がり、訪れた方からは「とてもいい香りがする」、「とてもきれいだね」などの声も多く、平成9年から花いっぱいコンクールに応募し、町をはじめ、道や全国での受賞など高い評価をいただきました。

【花いっぱいコンクール(団体・職場の部)受賞歴】

- ◎ 旧静内町 H 9 ~ H17 の間 特別賞 2回
最優秀賞 2回
優秀賞 2回
努力賞 2回
- ◎ 新ひだか町 H18 ~ H20 の間 特別賞 3回
- ◎ 北海道 H14 ~ H21 の間 最優秀賞 2回
優秀賞 2回
奨励賞 1回
- ◎ 全 国 H14 地区審査最優秀賞 1回

佐々木さんは、町の推薦を受け、道が指定する認定講習を受講し、平成17年に道公認のフラワーマスターとして認定されました。

【用語解説】フラワーマスター

花の育成管理や街並み景観に配慮した植花に関する知識・技術を持ち、花のまちづくりのボランティアリーダーとして積極的に指導・助言ができる方 [北海道による認定制度]

近所にお住まいの
五十嵐敏明さん
からのコメント

健康と心を癒す佐々木さんの
御心ある素晴らしい花壇です。

一粒一粒の種に精魂込めて、育成させ、花の苗となり、それを植えていかれるそのお気持ちに、只々感謝します。

花壇にただ1本植えられ大きく育った桜の木。美しく咲き誇った花壇の花の上に、桜の花びらが雪降るごとくに散る光景の美しさは、今も目に焼き付いて離れません。佐々木さん、ありがとう。

■現在の活動

平成28年から御料通り沿いの公衆トイレ(御料通線ポケットパーク)の敷地内の花壇づくりなどを行っています。以前は、雑草だらけでごみが散らかり、不審火があるなど、みんなが使えるようなトイレではありませんでした。そこで知人とそのお子さんたちとともに「まちをきれいにしよう」と意気投合し、清掃活動や花壇づくりを始めるようになりました。その後、知人らも転勤でいなくなり、今は1人で活動していますが、道を通る方に声を掛けてもらったり、ベンチに腰かけ花壇を眺めている方の姿などを見ると、私も心が和み「やって良かったな」と思います。

【種から育てる花壇づくり】

- ◎ 春の花(4月~6月) ~ 前年の8月に約5,000本分のビオラの種を畑にまき、春に花が咲くと、御料通りの公衆トイレや平取養護学校静内ペテカリの園分校などの花壇への植え替えを行っています。
- ◎ 夏の花(7月~8月) ~ 4月に約3,000本分のペチュニアやサルベアなどの種を畑にまき、ビオラに替わり、7月に植え替えを行っています。